

# ぼかし肥料の利用による水稻の育苗技術

福島県農業総合センター 生産環境部  
平成19年度農業総合センター試験成績概要

## 1 部門名

部門名 水稻 - 水稻 - 育苗、施肥法  
分類コード 01-01-00000613

## 2 担当者

菊地幹之・佐藤紀男

## 3 要旨

自家製ぼかし肥料を用いて、苗箱あたり播種量60g、窒素施肥量3g(現物あたり窒素含有率5.5%のぼかし肥料では現物55g)とすることにより市販有機育苗培土と同等の生育を得ることができ、追肥なしで成苗までの育苗を行うことができる。

- (1) 自家製ぼかし肥料を用いて、苗箱あたり播種量60g、窒素施肥量3gとすることによって、葉齢が概ね4葉まで追肥なしで育苗を行うことができる。
- (2) pH未調整のピートモスを混合することにより、播種時の培土のpHを6以下とすることができ、育苗終了時の培土のpHは、播種前に比べて上昇するが7を超えない。
- (3) 無加温育苗において、ミラーシートを培土に密着して被覆すると、発芽間もない時期にガス障害によると思われる幼芽の伸長の遅れが起きる可能性があるが、ミラーシートと培土の間に間隙を設けると障害は回避できず

## 4 その他の資料等

なし